



災害時に飲料水提供

白山市とクリーンライフ協定

白山市は十六日、同クリーンライフ(本市に天然水工場がある 金沢市)と、災害時に



調印を終えて握手を交わす作野市長(右)と毎田社長(中)。左は毎田専務=白山市役所で

飲料水の提供を受けることを内容とした協定を結んだ。市役所で調印式があり、作野広昭市長とクリーンライフから毎田正男社長、毎田健専務

らが出席。協定書に押印した。

作野市長は「白山市は白山頂上から手取川、日本海まで広い地域を有し、自然災害も

多岐にわたるおそれがある。人間にとって一番大事な水を供給していただける工場が市内にあるのは心強い」、毎田社長は「お役に立てることをうれしく思う」とあいさつした。

クリーンライフは昨年十一月から白山市水島町で天然水製造工場を稼働。「霊峰白山の水」の名前で三百五十リットルと五百五十リットルを製造し、一日に最大十万本を製造できるという。

(小塚泉)